

## 令和5年度 第1回 見附市まちづくり総合会議 議事概要

**I. 開催日時** 令和5年8月10日（木）午後2時00分～午後3時40分

**II. 開催場所** 見附市役所5階 委員会室

**III. 出席委員** 渡邊 誠介委員、坂田 政元委員、三藤 良行委員、星 鐘一郎委員、徳橋 功委員、星野 明子委員、佐藤 美千代委員、原 壽美子委員、大湊 和之委員、五十嵐 一美委員、田中 智恵利委員（計11名）

### IV. 会議の概要

#### 1. 開会

#### 2. 企画調整課長挨拶

本日はお忙しいところ、お集まりいただきまして大変ありがとうございます。

「まちづくり総合会議」は市政運営の方向性を示す最上位計画である「第5次見附市総合計画」をはじめ「第2期見附市総合戦略」、「見附市健幸づくり推進計画」の進捗管理、加えて「デジタル田園都市国家構想交付金」関連事業の効果・検証等について、市民の皆様および産・官・学・金それぞれの有識者の皆様のご意見をお聞きする会議。市の様々な会議の中でも、最上位の会議に位置付けられている。

本日は各種計画に基づき、昨年度に組んだ政策の進捗の報告をさせていただき、皆様のご意見をお聞きして、次年度以降へと繋げて参りたい。限られた時間になるが、忌憚のないご意見をいただきたい。

#### 3. 委員紹介

##### 【事務局】

委員名簿の配付および事務局の説明により省略。事務局から欠席委員を報告。

#### 4. 会長挨拶

本会議は見附市において非常に重要な計画運営方針について、我々市民がしっかりと状況を確認して意見を出すことができる大切な場。よろしくお願ひしたい。

#### 5. 会議の成立

##### 【事務局】

出欠報告委員の過半数が出席していることから、見附市まちづくり総合会議設置要綱第6条第2項の規定により会議が成立していることを報告する。

## 6. 議事

(設置要綱第6条第1項に基づき、議事進行は渡邊会長へ)

### (1) 見附市まちづくり総合会議について

#### 【事務局】

(資料1) について説明

《質問なし》

### (2) 第5次見附市総合計画(後期基本計画)・第2期見附市総合戦略の進捗状況・評価について

#### 【事務局】

(資料2-1、2-2、参考資料) について説明

#### 【渡邊会長】

資料2-1について、令和3年度と4年度で指標のトータル数が異なるのはなぜか。例えば、総合計画において令和3年度は28指標、4年度は40指標とあり、総合戦略において令和3年度は141指標、4年度は162指標とある。

#### 【事務局】

進捗状況のパーセンテージは、未評価であった指標を除いて計上している。特に令和3年度の総合計画に関しては、想定していたアンケートが実施できなかったため28指標となった。

また、令和4年度の総合戦略における162指標は、昨年度からの159指標に対して、「デジタル田園都市国家構想交付金」関連事業の実施にともない新たに3指標を追加したもの。なお、同3指標は「未評価」の10指標に含まれる。

#### 【大湊委員】

資料2-1では、達成状況が下降となった項目のみについて新型コロナの影響を受けたとまとめているが、上昇となった項目についてはいかがか。

#### 【事務局】

上昇となった項目についても、新型コロナの影響を受けた可能性はあると認識しているが、今回はあくまで下降となった項目について表現したもの。

#### 【佐藤委員】

資料2-2の項目番号29「児童・生徒の平均正答率」についても、把握しているデータを見る限りでは新型コロナの影響を受けたと考える。また、教育現場を見ていると、状況は良くなっているのではないかとも思う。

#### 【田中委員】

資料 2-2 の項目番号 30 「児童・生徒の体力の合計点」については、新型コロナの関係からここ 3 年間ほど休校や自粛のため、子ども達は自宅で過ごす時間が多かった。見附市においては今まで学力も体力も県平均を超えてきたが、やはり対面で学ぶ機会や日々の登下校、学校での運動やスポーツクラブといった機会が奪われて、今回の結果になっているのだと思う。今後、子ども達が通常の学校生活や外に出て過ごせるように、学校や保護者、市民の方など様々なジャンルの方がサポートしていくことが必要だと感じた。

#### 【星野委員】

県の立場としても、子ども達の学力・体力の状況については興味深いと思っている。学力よりも体力が落ちているものと認識。また、新型コロナの影響は全県的ではあるが、下降となった原因を新型コロナだけに絞って良いのか疑問がある。

#### 【事務局】

原因の究明は非常に難しい問題だと思う。厳密な検証はできていないが、小学校 6 年生と中学校 3 年生のみと対象人数が少なく分析が難しいこと、GIGA スクールなど教育のやり方が変わってきていることが影響しているのかもしれない。また、当市において小学生の肥満が増えているというデータもあり、こちらも体力に関係しているかもしれない。

#### 【渡邊会長】

資料 2-2 の項目番号 27 「出生数の維持」についても下降となっている。これは想定内の状況なのか、あるいは、「こんにちは赤ちゃん給付金」などの取組みの効果がいまひとつなのか、事務局の見解を伺いたい。

#### 【事務局】

出生数や合計特殊出生率といった様々なデータがある中で、見附市のデータを踏まえると、出産適齢期にある女性の人口が少ないことが大きな原因であると考えている。出生の動機には複雑な問題が絡み合っているため、給付金事業を行っても直接的な動機にはつながってくれないのが現状。子どもを産むか生まないかということだけではなく、育てていけるかという金銭的な問題、就業の問題など、どうやったら解決して出生に結びついてくれるか、今後もよく考えていきたい。

#### 【三藤委員】

資料 2-2 の項目番号 25 「増加住宅数」に関連して、近年の建築費の高騰を懸念している。例えば地元の工務店では、30 坪ないし 35 坪の 4LDK 住宅を新しく建てる際の建築費が坪単価 80 万円を超えている。ハウスメーカーなら坪単価 100 万円、長岡市内の展示場にあるようなモデルハウスの仕様で建てるとなると 150 万円となる。新潟県は持ち家志向が強いが、価格高騰が悪い影響

を与えているかもしれない。中古住宅もそのままでは需要が増えないためリフォームが必要であり、当然その取得コストも高騰してくる。

**【事務局】**

貴重な情報として、担当課とも共有していく。

**(3) 健康づくり推進計画の評価と次期計画について**

**【事務局】**

(資料3-1、3-2、3-3) について説明

**【大湊委員】**

資料3-3の指標1ないし3の子どもの「肥満傾向」に関連して、最近の子どもはゲームで遊ぶことが多い。夏場を含めて屋外では遊びたがらないし、大人としても子どもが屋外で遊ぶのは心配。また、大人においても、インターネットの普及によって用事が家の中で完結してしまう。健康都市という観点で近い将来、状況は徐々に悪化していくのではないかと思う。参考資料の総合戦略KPIでは通番号141「運動スポーツプログラムへのプログラム掲載数」を設定・評価しているが、もっとスポーツを身近にする施策を考えてほしい。スポーツクラブ活動となると送迎が親の負担になるため、自発的に運動ができるようなスペースがあると良い。

**【事務局】**

当市スポーツ協会が取り組んでいるような、スポーツプログラムを増やしていくことは大事であるし、その他様々な場面で運動をしてもらえるよう、積極的な情報発信を検討していきたい。

また、当市では先月7月に「プレイラボみつけ」をオープンし、設置した運動スペースで自由に体を動かすことができる。同施設は市民からの意見にもとづき、当初は雨や雪などの悪天候でも利用できる遊び場を想定していたが、最近の猛暑から多くの利用があると聞いている。加えて、子ども達で自由に移動してもらうことを狙いとして、同じく7月から市内中学生以下を対象にコミュニティバスの運賃を無料化している。これらのような取組みと組み合わせながら、今後も施策を検討していきたい。

**【三藤委員】**

子どもの肥満や運動については(2)で説明のあった資料2-2の項目番号30「児童・生徒の体力の合計点」とも関連すると思うが、市内小学校陸上大会などでの子ども達の様子を見ると、投げる能力が低い。一方で、経験上、1時間教えただけで投げる形を覚えるし、教えることで能力が飛躍的に伸びる子どももいる。例えば、小学校においてドッジボールの時間を設けてはどうか。「走る」「跳ぶ」という動作は日常生活でおおむね行っていることから、「投げる」という動作を意識的に学校の授業へ反映する趣旨。

**【事務局】**

担当課に伝えて、検討していきたい。

**(4) デジタル田園都市国家構想交付金に係る事業の実施状況について**

**【事務局】**

(資料4) について説明

**【大湊委員】**

資料4の②「駅周辺地区を中心とした地域活性化および若者の拠点づくり支援事業」について、KPI「駅交流施設の1日あたり平均利用者数」を「300人」と設定している。交流施設の整備のため見附駅駐輪場をリノベーション工事中とのことだが、スペースの広さと回転率の観点から、KPI設定に無理があると思う。

**【渡邊会長】**

交流施設は夕方に市外から帰ってくる高校生をメインターゲットとしており、彼らが迎えを待ちながら勉強したり友達と話したり、あるいは、NPO法人や地域の人達がイベントを行ったりする想定であると理解している。今後出てくる実績値に対して、我々委員が意見を出していくものと認識している。

また、若者への支援という観点では、資料4の③にある「情報発信ツール制作：プロモーションムービー作成」について、近隣の大学生に協力してもらえれば、学生自身も地域に愛着が湧き、県内就職率の向上につながるかもしれない。また、プロの業者からムービーを作ってもらう場合に比べて、より多くの人に見てもらえるかもしれない。そのような有機的なつながりを検討してほしい。

**【事務局】**

若者を巻き込むことがキーとなると理解した。担当部署と検討していきたい。

**【佐藤委員】**

交流施設の2階に加えて、1階にも若者を惹きつけるような施設を入れることはできないか。例えば、駐輪場は別の空間に作る形で、少しでも若者を惹きつける場を目指すべき。高校生の保護者の声を聞くと、そういった場がないことが、見附高校への受験希望や近年の定員割れに影響していると考えられる。

**【事務局】**

交流施設はすでに設計が完了済みだが、若者の惹きつけ方は今後も検討できる。担当課に伝えて、検討していきたい。

**【坂田副会長】**

駅舎を大改築するという話があったと思うが、以前よりもトーンダウンしている印象がある。

**【事務局】**

改築についてはまだ決定の段階にはなく、また、お金のかかるやり方はできないという考えから、第1案はこうで第2案はこう、といった形で提案・検証している段階にある。

**【三藤委員】**

近隣の JR 長岡駅から JR 東三条駅までを見ると、ほとんどが無人駅で商業施設がない。見附駅前も目に付くのは旅館が2軒、うち1軒は食事の提供がある。あとはパーラーが1軒見える程度。

家賃は坪単価 12,000 円程度が相場であり、駅周辺で採算を取るのには厳しい。近年は郊外に大きなショッピングセンターを作ることが商業施設の主流な手法となっており、駅前に民間の商業投資がない中で市の奮闘には頭が下がる思い。

**【渡邊会長】**

部活動に所属していない高校生、あるいは、迎えを待っている間の高校生に活動の機会を与えるものとして、いわゆる「損益分岐点」ではなく、公共的な取組みと認識している。私も市の動きには頭が下がる思い。

先ほどのプロモーションビデオ作成にも関連するが、見附高校には現在、美術専任の教員が在籍している。見附高校から近隣の大学につないでもらうことができるかもしれない。また、正解を覚えるような教育分野だけではない、美術などを絡めたクリエイティブなことができれば、高校自身の人気も変わってくるように思う。

**【星野委員】**

県単位の動きとしては、新潟県警が県内専門学生と組んで、麻薬覚せい剤の防止のプロモーションビデオを作った事例があった。ロケも学生自身でしていたと思う。

**【事務局】**

いただいたご意見や励ましと労いのお言葉を踏まえて、よりよい駅周辺エリアにしていけたら良い。

**【渡邊会長】**

その他質問や意見があればお願いしたい。

《なし》

無いようなので、これにて各議事を終了とする。

(以降の進行は事務局による。)

## 7. 閉会

### 【事務局】

次回会議は、令和6年1月頃の開催を予定。開催日時が決まり次第、改めてお知らせする。

以上